



井川 克彦 議員(政友会)

※インバウンドについて

質問方式
一問一答

Q 佐野市におけるインバウンドへの取り組みはどのように進んでいるか。

A 観光スポーツ部長

現時点では、メジャーな観光地のように外国人観光客が目に見えて増大しているとは言い難いですが、人が人を呼び呼びピーターも増えている状況で、この点については近隣市町に比べて突出しているところではあります。

平成28年度において多言語対応の観光パンフレットを作成し、案内看板等については順次整備を進めていきたいと考えています。

また、株式会社JTB関東と締結しました包括連携協定や、佐野市スポーツツーリズム協会など様々な民間活力と連携を図りながら着実に推進していきたいと考えています。

その他の質問

☆新庁舎周辺整備について
☆新庁舎建設における地域貢献について

※インバウンドとは・・・

旅行、観光、交通業界では、海外から自国を訪れる旅行や自国を訪れる外国人観光客のことを指す外来語です。



川嶋 嘉一 議員(政風会)

佐野インター産業団地(第2期)について

質問方式
一括質問
一括答弁

Q 今後の産業団地周辺地域の発展に向けて、インフラなどの環境整備は必須の課題であるが、周辺の市街化区域はまだ公共下水道整備がされていない。例えば黒袴町などの下水道整備の計画はあるのか。あるのであれば具体的な内容を伺いたい。

A 都市建設部長

平成27年度の工事をもって佐野インター産業団地内の下水道整備は完了する予定です。周辺地域の市街化区域である黒袴町の集落についても、引き続き整備を進めていきたいと考えています。

整備計画としては、現道を利用した整備を予定しており、平成28年度に工事着手に必要な国・県との手続きを済ませ、平成29年度から測量設計、工事着手と事業を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆ロビーコンサートについて



▲ 佐野インター産業団地(西浦町・黒袴町)



木村 久雄 議員(公明党)

食に関する諸問題について

質問方式
一問一答

Q 日本では年間500万トンから800万トンの売れ残りや食べ残しなど、本来なら食べられるのに捨てられている食料がある。本市における食品ロスの現状と、削減するための今後の展望について伺いたい。

A 産業文化部長

本市の現状については、これまでに調査等を行われていませんので把握できていませんが、平成26年食品ロス統計調査によると、1人1日当たりの食品ロスの量は40.9gとなっており、本市の人口を掛けると1日当たり5トン弱のロスが生じている計算になります。

今後は、食育講座のテーマとして検討するとともに、消費生活と大きくかわる問題ですので、関係部署と対応策等について意見交換をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆温室効果ガス対策について
☆子育て支援について

